

都市再生整備計画 事後評価シート
武蔵境駅周辺地区

平成24年3月

東京都武蔵野市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	東京都	市町村名	武蔵野市	地区名	武蔵境駅周辺地区	面積	223 ha				
交付期間	平成19年度～23年度	事後評価実施時期	平成23年度	交付対象事業費	5,732百万円	国費率	0.236				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名 基幹事業 道路事業(1箇所)、公園事業(2箇所)、下水道事業(2箇所)、高質空間形成施設(水辺環境整備)、高次都市施設(地域交流施設建設) 地域創造支援事業(武蔵境駅前歩道環境整備、地域文化拠点施設建設)、事後評価								
	当初計画から削除した事業	基幹事業	武蔵野市 武3・3・23号線駅前広場整備、武3・4・20号線駅前広場整備、市道261号道路改良、武蔵境駅周辺高架下駐輪場整備			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業	なし								
	新たに追加した事業	基幹事業	下水道都道123号線整備事業、下水道武3・4・24号線整備事業			目標達成により効果的であると認められるため		影響なし			
		提案事業	なし								
交付期間の変更	当初	平成19年度～23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
	変更	なし									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値				
	指標1	鉄道高架化に伴う駅周辺の都市基盤等に関する利用者の満足度	%	30	H18 40	H23 36	46	○	あり	連続立体交差事業の進捗、及び、関連道路の整備により、駅の南北間の移動が容易となり、回遊性が向上したため、駅周辺の都市基盤等に関する利用者の満足度が目標を上回った。	
	指標2	市民の学習意欲向上に係る施設利用数	回	26	H18 40	H23 26	26	×	あり	武蔵野プレイスが市民団体による運営及び多様な人々が活動、交流するための空間(場)の提供を主とした運営方針であるため、市民の生涯学習事業開催数としては大きな変化はないが、武蔵野プレイスの開館により、人と人とのつながりを生み出す生涯学習環境の向上が図られている。	平成24年7月
指標3	駅周辺施設の利用者の満足度	%	40	H18 50	H23 47	53	○	あり	武蔵野プレイス、及び、境南ふれあい広場公園の完成によって自然、文化の満足度が上昇した。また、鉄道高架化に伴う南北の商店・商店街間の往来が容易になり、商店・商店街が利用しやすくなったため、駅周辺施設の満足度が目標を上回った。	平成24年度	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値				
	その他の数値指標1	武蔵野プレイス内図書館の貸出冊数	冊/日	929	H18	1,101	3,290			図書館機能が西部図書館から武蔵境駅前の武蔵野プレイス内に移転、拡充(現行の約1.7倍、約14万5000冊所蔵したこと、また、鉄道高架化によって南北間の往来が容易になったことから、図書館への来場者、及び、貸出冊数が増加した。	平成24年7月
	その他の数値指標2	武蔵境駅周辺地区の「文化や生涯学習に気軽に触れることができる」に対するイメージ	%	11	H18		31			武蔵野プレイスが武蔵境駅前に開館したことで、文化や生涯学習に触れ合う機会が増加し、「文化や生涯学習に気軽に触れ合うことができる」というイメージが5年前(都市再生整備計画以前)と比較増加した。	
その他の数値指標3	市民会館・武蔵野プレイス内施設の利用数	件/月	601	H18		1,037			武蔵野プレイスが武蔵境駅前に開館したことにより、武蔵境地区に生涯学習を実践できる施設が増加したことから、市民会館、及び、武蔵野プレイス内の施設の利用数が増加した。	平成24年7月	
その他の数値指標4	武蔵野プレイスで実施された生涯学習振興に関する事業への参加者数	人/月	-	-		1,098			武蔵野プレイスの開館により、当施設での生涯学習振興に関する事業が新たに実施されたことから、武蔵境地区における生涯学習に触れる機会、参加者が増加した。	平成24年7月	
4)定性的な効果発現状況	<p><武蔵境駅周辺地区満足度調査による意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・境南ふれあい広場公園が出来てから、駅前が明るくなり良かった。 ・南北通路の往来と公共施設が適当な場に配置され、本当に住環境の充実感が実感される地区になった。 ・南北の連絡通路が2本新しく出来て動きやすくなった。駅が完成したら、とてもきれいになり、うれしい。 ・武蔵野プレイス、及び、境南ふれあい広場公園が出来て、とても楽しかった！これからも良い街づくりに期待している。 ・武蔵野プレイスがオープンし、開放的で親しみやすい様ですが、利用者も公衆のマナーをまもり、満足度の高いスペースにしていきたい。 ・三鷹から一年前に引越してきた。静かなところで、とても気に入っている。立体事業が完成すればさらに便利になる。 										
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング	武蔵境駅周辺利用者満足度調査	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 今回の事後評価において、同様の満足度調査を実施した。今後は連続立体交差事業完了後に実施する予定である。			
	住民参加プロセス	武蔵野プレイス市民活動フロア市民ワークショップ 武蔵境駅舎・広場・街づくり協議会(駅場協)	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 武蔵野プレイス市民活動フロア市民ワークショップは、平成22年11月に報告書を作成終了したが、今後も武蔵野プレイスの運営については、市民の意見を収集する場を設けていく方針である。駅場協については、関係者や関係機関と協議を行い、まちづくりに関する活動等を一体的、継続的に実施する組織づくりを商店会やNPO等多様な主体との連携により推進する。			
持続的なまちづくり体制の構築	事業終了後の継続的なまちづくり活動	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 関係者や関係機関と協議を行い、まちづくりに関する活動等を一体的、継続的に実施する組織づくりを商店会やNPO等多様な主体との連携により推進する。				

様式2-2 地区の概要

武蔵駅周辺地区(東京都武蔵野市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: 鉄道連続立体交差化に合わせた都市基盤整備や自然と調和した良好な住環境の保全により、南北一体の生活感あふれるまちづくりを推進する	鉄道高架化に伴う駅周辺の都市基盤等に関する利用者満足度	単位: % 30	H18 40	H23 46
目標1: 都市基盤整備を中心とした安全で安心に暮らせる人にやさしいまちづくり	市民の学習意欲向上に係る施設利用数	単位: 回 26	H18 40	H23 26
目標2: 人と人とのつながりを大切に生活感あふれるまちづくり	駅周辺施設の利用者満足度	単位: % 40	H18 50	H23 53
目標3: 武蔵境の自然と緑を活かした未来を開くまちづくり	武蔵野プレス内図書館の貸出冊数	単位: 冊/日 929	H18	H23 3,290
	武蔵境駅周辺地区の「文化や生涯学習に気軽に触れることができる」に対するイメージ	単位: % 11	H18	H23 31
	市民会館・武蔵野プレス内施設の利用数	単位: 件/月 601	H18	H23 1,037
	武蔵野プレスで実施された生涯学習振興に関する事業のべ参加者数	単位: 人/月 -	-	H23 1,098



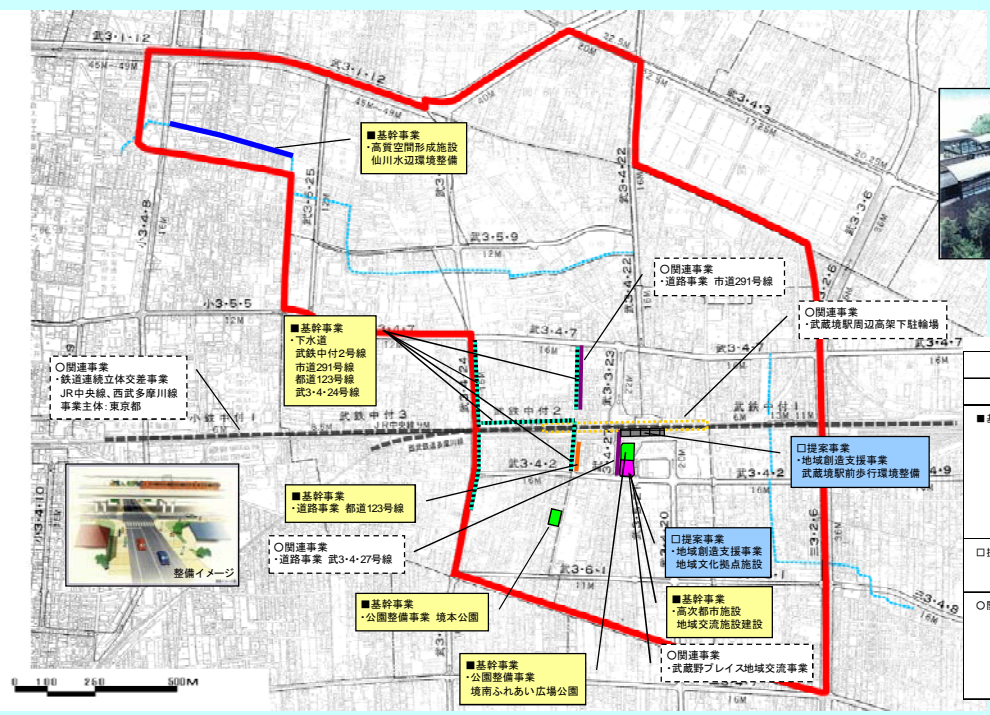
仙川水辺環境整備



都道123号線



武蔵野プレス



高架下駐輪場



武蔵境駅南口



境南ふれあい広場公園

凡	例
■ 基幹事業	<ul style="list-style-type: none"> 道路事業 (道路改良・歩道整備) 公園整備 下水道整備 高次都市施設 (地域交流施設) 高質空間形成施設 (水辺環境整備)
□ 提案事業	<ul style="list-style-type: none"> 地域創造支援事業 地域文化拠点施設 地域創造支援事業 武蔵境駅前歩行環境整備
○ 関連事業	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道連続立体交差事業 道路事業 (道路新設) 武蔵境駅周辺高架下駐輪場 武蔵野プレス 地域交流事業

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 武蔵野プレスの完成により、駅前に図書館や生涯学習の場などの複合的な機能をもった公共施設が配置され、地域交流の新たな拠点となったが、施設の利用者に見合った駐輪スペースの確保ができていない。 鉄道連続立体交差化に合わせて歩道や駅南側連続施設の整備をすることにより、快適で安全な歩行者空間が確保できたが、連続立体交差事業や北側の駅舎連続施設の未完了の部分があり、南北動線としての機能が未達成の箇所がある。 「自然生態系復活ゾーン」に該当する桜堤地区の仙川護岸整備は、一定のめどが立ったが、河川維持水の確保ができていない。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 武蔵野プレスの利用者の底辺が広がるような事業展開、及び、施設運営が行われるよう、図書館機能と生涯学習機能が融合した講演事業や青少年活動と市民活動が融合したイベント事業といった、複合機能が融合した施策を展開していく。 武蔵野プレス周辺の駐輪問題が新たに発生しているため、武蔵境駅周辺全体としての駐輪場対策を図っていく。 快適な歩行空間を確保していくために、東京都と連携し、施設の維持管理を適切に行うことで、歩行空間の安全性、快適性を維持していく。 桜堤地域より下流域における親水空間の整備および市民への啓発イベント等を実施し、今後の親水空間整備の事業化できる候補地の策定と親水空間の効果的な創出につながる手法の研究を行う。